

展覧会名：形のないもの

会期：平成19年7月28日（土）～平成19年10月28日（日）

概要：写実的に描くということは、ものの形を見えるままに描くということ以上に、ものの実体、言い換えれば、ものの最もそれらしい姿を捉え、描き出すことを指す。画学生時代に親交のあった洋画家・安井曾太郎（1888～1955）の写実に対する姿勢に感化された関口は、これを基に、戦後日本画の一局面を切り開いてきた。その過程は、勿論、写実への挑戦の過程であったと言える。徹底した写実による写実の超克。これを目指す関口のまなざしは、時として形のないものへと向けられた。光、炎、雲、風といった定まった形をもたず、絶えず変容してゆくものたちの一瞬の形を見極め、捉えることで、それらのもつ普遍的な実体への接近を試みるのだ。本展では、形のないものをいかに描き出そうとしているかという視点から、関口の写実との格闘の様子を示す。



フライヤー表

post card

http://www.sekiguchi-muse.jp

関口雄揮記念美術館所蔵作品展
形のないもの
2007年 7/28(土)～10/28(日)

昨年度日展出品作品「曠野の秋」当館初展示

7月28日(土)、29日(日) 関口雄揮来札
7月28日(土) 作家本人によるギャラリートーク 13:00-14:00

・公共機関をご利用の場合 地下鉄南北線「真駒内」駅のバス2番乗り場から中央バスに乗り、「芸術の森入り口」で下車(所要時間13分、バスは約15分間隔で運行)、徒歩1分。
※2番乗り場乗りのバスはすべて「芸術の森入り口」に停まります
・車でお越しの場合【駐車場30台(バス専用)】札幌駅から車で40分
・当館へは札幌芸術の森園内(芸術の森美術館正園) ホザール橋からお越しいただけます

入場料金
大人1000円、大学・専門学校生800円、中学生600円、小学生300円
※小学生未満無料、※15名様より団体割引がございます。

関口雄揮 札幌市南区常盤3条1丁目【芸術の森入り口】
記念美術館 Tel 011-593-5050 E-mail: info@sekiguchi-muse.jp
本展に持参の方100円割引 ※お一人につき一枚、一回のみ有効

フライヤー裏

関連イベント：

- ・ギャラリートーク（要入場料）

日時：7月28日（日）13時～

会場：関口雄揮記念美術館第一展示室

講師：関口雄揮（日本画家 日展会員）